昭和40年3月8日第三種郵便物認可（毎月5日、15日、25日発行）

☆反帝闘争を
プロレタリア日本革命へ！
☆日本革命をアジア革命の勝利と
世界革命の突破口とせよ！
共産主義者同盟

11月25日
第81号
購読料
20回ごとに
一部 400円（〒共）
二部 700円（〒共）
三部以上一部に付300円

戦旗

編集発行人 杉村宗一
戦旗社
東京都文京区西片2丁目3－3（加藤ビル内）
電話 代表（814）1635
振替（東京）26110
大阪支社（453）0235
名古屋支社（781）1938
本号一部 20円

☆反帝闘争の旗の下侵略と抑圧に抗し
生活と権利を実力防衛せよ！
☆プロレタリア永続革命の旗の下
共産主義者同盟に結集せよ！

11・27物価メーデーを戦闘的デモで闘いぬこう

春闘共闘委員会総評・中立労連主催の十一・二七「物価メーデー」は、中央で三〇万、神奈川一〇万、埼玉五万、（千葉は中央集会へ参加）の労働者を結集して闘われる。一一・二七闘争こそ政府・資本家階級の労働者への攻撃が一段と深まろうとしている現局面にあって、労働者階級の全力をあげた抵抗闘争として闘われなければならない闘争である。

既成指導部の総選挙へのカンパニヤ闘争へのすりかえは、客観的に労働者階級からの攻撃に対して労働者階級を無防備な状態に放置するものだ。現に二〇・二一闘争に対する弾圧、処分が目白押し、自治労、国鉄動労、全逓にかけられている。

年末一時金の回答をベトナム待遇による一時的好況を支えられて金額的には昨年を上回るとほいえ、且つ連は公然と賃金凍結制のためのガイドポスト制度、賃金上昇を生産性上昇のワク内に抑えるを導入しようとしている。

小選挙区制早期撤出を許すな

自民党佐藤内閣の手詰り状態は日本資本主義の矛盾を労働者階級人民の上に転嫁しようとして自らはほこの手詰りを糊塗し、かつ失なわれつつある選挙権を擁保しようとして逆に本格的ファッショ、そしてこの事態が大衆的に暴露されると、佐藤内閣は動揺を開始した。しかし佐藤は腐敗と売職に動揺したからも、財界の強力なバックアップを唯一の支えとしてその責任を回避するだけでなく、その原因を選挙制度にすりかえ、今度は小選挙区制早期撤出にしのり寄ろうと策動を開始した。

そして労働者・勤労民のベトナム反戦への意志をふまえ、アメリカ帝国主義への追従を強化し、国連における中共加盟反対の陰謀の走狗となっている。これが佐藤自民党政治の姿なのだ。

十一・二七はこうした佐藤自民党・資本家階級への宣戦と反撃の日でなければならない。

一〇・二一弾圧処分に反撃を！

政府・支配階級は、国労、動労、全逓に大規模な処分を発表した。福田蔵相は「消費者米価値上げは常識」と広言してはばからない。電電公社料金、都バス都電の値上げを押しつけようとしている。これが、政府支配階級の意図するところだ。IMF・JCのテコ入れや民社・同盟との癒着関係を強化しつつ、労働者階級を体制内化するとと同時に、戦闘部隊を圧殺するの狙いの基本戦略である。だからこそ、戦闘部隊への狙い打ち処分攻撃に断固闘わねばならないのだ。

実力闘争で住宅金庫

打破する春闘への前哨戦

今年の春闘では二月二十日物価メーデーが東京中央集会に五〇万の労働者を結集して「不況下の春闘」に向けてのムード作りとしてとりくまれた。総評傘下は「一・二七物価メーデー」を春闘の春闘に向けてのムード作りとしてとりくまれた。総評傘下は「一・二七物価メーデー」を春闘の渠頭視しながら、むしろ攻撃に対しての政策転換との場と考えている。一公共料金の断なるの値上げ、賃金の抑制とともに労働者階級の生活を強く圧迫している。

ガンは、「物価値上げ反対」に対しスローガンをかかげることしかできない。こうした彼らの政策の反動的性格は、第一党になった東京都議会でふきぶるに、都営地下鉄バス「料金値上げ」に賛成せざるを得ないはめに陥って強要された。われわれは、共公料金値上げ反対の鮮明なスローガンをかかげるとは来春闘への展望を、年末一時金獲得における実力闘争を闘いぬくなかで作りだされなければならない。

「来春闘の明るい展望」はまく一時的なものだろう。福田蔵相はむしろ、国際収支悪化の緊迫を外電にもらしており、また中小企業においては相変らず企業倒産が続発すること。

福田蔵相は「消費者米価値上げは常識」と広言してはばからない。電電公社料金、都バス都電の値上げを押しつけようとしている。これが、政府支配階級の意図するところだ。IMF・JCのテコ入れや民社・同盟との癒着関係を強化しつつ、労働者階級を体制内化するとと同時に、戦闘部隊を圧殺するの狙いの基本戦略である。だからこそ、戦闘部隊への狙い打ち処分攻撃に断固闘わねばならないのだ。

実力闘争で住宅金庫を打破する春闘への前哨戦

今年の春闘では二月二十日物価メーデーが東京中央集会に五〇万の労働者を結集して「不況下の春闘」に向けてのムード作りとしてとりくまれた。総評傘下は「一・二七物価メーデー」を春闘の渠頭視しながら、むしろ攻撃に対しての政策転換との場と考えている。一公共料金の断なるの値上げ、賃金の抑制とともに労働者階級の生活を強く圧迫している。

反戦ストに大量処分の攻撃

大衆的職場闘争で実力反撃を

国労・動労 三二日

国鉄当局は最高停職一年を含む大量処分を発表した。その内訳は、停職五二人、減給一〇人、戒告二四六人であり、また これとは別に、総裁訓告一三四人の非公式処分が発表されている。

全逓 二二日、郵政省の発表した処分は解雇九人、停職一四二人、減給四六七人余である。この大量処分は、十月十五日長崎逓信管理局の統率輸送をめぐる八鉄道職員ストと、十・二二ストにたいしてかけられた。

都教組 十・二二ストの指導にたった日教組にたいしては、習俗的に暴露されるが、佐藤内閣は動揺を開始した。しかし佐藤は腐敗と売職に動揺したからも、財界の強力なバックアップを唯一の支えとしてその責任を回避するだけでなく、その原因を選挙制度にすりかえ、今度は小選挙区制早期撤出にしのり寄ろうとしている。

年末一時金闘争は、全逓三九中央にみられるように、闘争方向はうちだされ、十二月十五日まで三六協定を締結したまま郵政当局の強硬な態度を崩すことはできない。

この度、郵政当局公表一覧は、郵政省幹部のしかけに対して「掴虎の威を借る」官僚の反撃の狙いにおいて、われわれは、激化する政府権力の圧迫に対する労働者大衆の抵抗意識と全面的に反撃し、闘いを抗議隊の組織化へ！

日本帝国主義の攻撃に対する抵抗闘争に発展させるために、全力を傾けた。

東交への合理化粉砕、東交労働者の職闘的発展に対する処分攻撃と点、学園において総力を尽して連帯し闘いぬいた。

10・21公務員共闘の闘いにおいて、われわれは、激化する政府権力の圧迫に対する労働者大衆の抵抗意識と全面的に反撃し、闘いを実力抵抗闘争に発展させるために日本帝国主義の攻撃に対する抵抗隊の組織化！これと、プロレタリア日本革命への道であり、東交合理化粉砕！闘う東交労働者に大衆的支援を！

日本学生運動の成功をかちとろう！

プロレタリア世界革命目指し、革命的労働者党を建設しよう！

佐藤内閣打倒 ベトナム侵略阻止 全学連再建

総力を結集し 12・15集会へ

（一）

全都全国の戦闘的労働者学生諸君！職戦の號砲諸君！

われわれ共産主義同盟は、この九月に結成再建の集会をなしとげた。

「反帝闘争をプロレタリア日本革命へ！

日本革命をアジア革命の勝利と世界革命の突破口とせよ！」

この見地における プロレタリア永続革命の旗の下に、われわれは流血を開始し、闘争にたえるべく、全力をあげて、闘ってきた。

10・21ベトナム闘争と選挙カンパニア闘争に闘争させ、大衆的実力闘争（ストライキ闘争）を一切提起しようとしなかった社会党・共産党の裏切りに対して、われわれは、闘いの矛盾の下に、われわれは民同に対し、われわれは、闘いの可能なあらゆる地点において大衆闘争を組織した。大阪においては大阪中電を中心とする「10・21早朝一万五千のデモ」の中核隊と共に闘ってきた。

（二）

日本帝国主義のベトナム侵略阻止！

この二年月間の闘争の教訓を総括し、更に戦闘的前進をかちとるために、12・15集会を圧倒的に成功させようではないか！

（三）

現局面における闘争情勢の特徴は何か？

一、労働者階級の戦闘的発展と闘いの教訓を総括し、更に戦闘的前進をかちとるために、12・15集会を圧倒的に成功させようではないか！

二、日本帝国主義のベトナム侵略阻止！

三、佐藤内閣打倒！

四、日本学生運動の成功をかちとろう！

五、プロレタリア世界革命目指し、革命的労働者党を建設しよう！

12・15集会スローガン

一、侵略と抑圧・腐敗の佐藤内閣を打倒せよ！
一、ベトナム侵略反対！ 日本帝国主義の侵略
加担を許すな！
一、小選挙区制粉砕！
原潜寄港・エンタープライズ寄港阻止！ 第三次防衛計画反対！
10・21闘争への不当処分を許すな！
東交合理化粉砕！ 闘う東交労働者に大衆的支援を！
一、大幅賃上げ・合理化粉砕！ 日本帝国主義の侵略
一、日本学生運動の成功をかちとろう！
一、プロレタリア世界革命目指し、革命的労働者党を建設しよう！

12・15集会へ

主催・共産主義者同盟
日時・12月 15日 6時
場所・全電通会館
（国電お茶の水駅聖橋口下車徒歩3分）

佐藤内閣打倒 労働者学生集会

一、あいさつ
一、連帯のあいさつ
（1）共産主義者同盟
（2）全学連再建準備会
（3）韓国救援労働者
（4）反戦青年委員会
（5）全逓労働者
一、反帝闘争をプロレタリア日本革命へ　共産主義者同盟
一、流動する政治闘争と日本階級闘争　共産主義者同盟書記長・水沢史郎
一、10・21闘争と学生運動　共産主義者同盟政治局員・赤崎次郎
一、再建全学連の任務は何か　同・一向健

年末一時金カンパを訴える

国内階級闘争の激化するなかで、統一再建されたわが同盟は、来春闘、小選挙区制粉砕のために日夜不断の努力を重ねています。この任務に応えるべく、当面の次の課題を遂行する必要があります。

一、電話加設
二、機関紙配布市体制の整備
三、資料収集と教材の充実
四、郵便料金値上げの折、これらの課題を完遂するために、本紙読者の皆さんに、年末一時金の一割カンパを訴えます。

「戦旗」編集局・経営局

本部の弾圧計画崩れる

十四支部が反本部の態度

東京本部は十日、調査委員会を中心に「本部として処分する」ことを決めた。十二、十四両日の審査では十九名を個別審査にかけようとしたが反撃され、審査は中断された。

あわてた教材書記長は十九日に中執を招集し「審査方を制裁委に切りかえる」ことを決定し、当面処分者十九名中の十三名を「本部で処分」する計画をたてた。

本部執行委員会が定している十三名の処分者は——

三の輪・竹内支部長、寮長原田支部長、岡部組織部長、片山本部青年部長、鈴木書記、鈴木支部青年部長、秋本書記長は十九日に中執を招集し「審査方を制裁委に切りかえる」ことを決定し、当面処分者十九名中の十三名を「本部で処分」する計画をたてた。

本部執行委員会が定している十三名の処分者は——

三の輪・竹内支部長、寮長原田支部長、岡部組織部長、片山本部青年部長、鈴木書記、鈴木支部青年部長、秋本書記、鈴木支部青年部長、滝川中執、大久保＝小笠支部長、滝川中執、大野副支部長の三名、ほぼ決定したのは大田支部青年部長。

青山＝庄司支部青年部長、本戸副支部長、大野副支部長、大野副支部長、畠山＝大野本部青年部長で同一。

このほか、統制委がほぼ決定した

組合化強・徹底抗戦へ

江商 大量首切り反対闘争

金融資本下の江商（こうしょう）労組では、現在、首切り反対闘争が展開されている。

業員千九百名中七百名の首切りという大量解雇に対して、組合は10・27、11・1の二時間スト、11・4の二時間スト、11・7の半日スト、11・18の全日ストをもって闘い、現在の「自主退職」による人員削減」という線にいちおうおちついている。

この度、第三次の「整理」案を提出した。この提案は、「経営状況の悪化」を理由に、江商労組の組合員の中から、現在の不況からくる中小企業の倒産が、中堅以下の商社の没落を通じて、江商の経営にひっきょう東京銀行が吸収されるであろうとの観測のもとに、「自主退職」を強要しようとしている。

これに対して、東京銀行は、「自主退職」を強要しようとしている。

これに対して、東京銀行は、「自主退職」を強要しようとしている。

この度、文部省の「整理」案の提出は、江商の経営に対する東京銀行からの強大な圧迫であり、ということが最終的原因である。

ところで、この七百名の大量首切り案に対して、組合幹部は、「自主退職」という逃げ口を設けて、「自主退職」を強要しようとしている。

「自主退職」は今や、自民党とともに、組織労働者の「自主退職」を強要しようとしている。

この「自主退職」は、「自主退職」を強要しようとしている。

「自主退職」は、今後、組合

昭和40年3月8日第3種郵便物認可（毎月5日、15日、25日発行）

再建全学連の任務は何か（上）

十二月全学連再建が目前に迫っている。日韓・早大闘争を転期として提出された新たな全学連運動の政策、政治指導をめぐって安保全学連の総括論争、民青「全学連」や社民構改派自治会、革マル「全学連」に対する対決、あるいは再建派内部での「党と大衆組織」等の組織論上の問題等に関して、われわれの主張を整理し、一層深化・具体化する必要がある。そのことは再建全学連の主流派としてのわれわれの義務であるだろう。

こうした観点から（一）安保全学連の総括を軸にして新全学連運動の位置を確定それへの政治的指導の方向を明きらかにすること（二）再建される全学連の具体的政策を中心にして、全学連運動のイメージを確立すること（三）民青「全学連」の分裂・妨害活動に対しての対応とその基本的規点、以上三つの領域に絞ってわれわれの見解を明きらかにし再建全学連の基本的な任務と展望をここに提起した。

（一）問題は何か

この二、三年来学生運動の学生活動家・諸党派が学生運動の推進主導権を獲得しようと躍起となった。これに対して、「平和と民主主義、よりよき生活」にスローガン化されるような理念を通じて形成されてきた自治会指導部の天皇との接点が弱化したこと、②学生運動が全階級関係・統一戦線の中で果した機能的位置・先駆的位置・機能が喪失されたこと、③ボゾダム自治会の空洞化にともなう自治会指導部の学生大衆に対するヘゲモニーが崩壊化したことなどの問題であった。従来の右翼全学連に純化されて、先駆性・活力が喪失し逆着していることはいまや誰れの目にも明らかである。問題はあかる点を「いかなる観点から評価し、これに対して東京教育大学の積極的支援を中心に、都教組中央執行部の指令を無視して続けることができず、「年内解決」の方向を出す段階に入った。

静岡市教組問題は、「闘う都部に共通した問題」であり、われわれ自身の問題である。静岡市では第二組合の発足とともに各分会では「二組合員に命がけの態度を迫る。静岡市教組闘争委員会」を編成し、「教組組織防衛」を合言葉に、「闘う静岡市教組を守ろう」という声は、いま、東京をはじめ全国に広がりつつある。昨年10・22闘争で突出した闘いを踏み、役員免職と分裂の攻撃にもかかわらず、なお三分の二の組合員に支持されつつ、今年10・21闘争の中で再度強力に起ち上った静岡市教組は、勝利の展望を切り開くために、いよいよ強く闘っている。これに対して東京教育大学の積極的支援を中心に、都教組中央委員会の支援活動によって、現在、ついに目教組中執も事態を無視し続けることができず、「年内解決」の方向を出す段階に入った。

静岡市教組問題は、「闘う都部に共通した問題」であり、われわれ自身の問題である。静岡市では第二組合の発足とともに各分会では「二組合員に命がけの態度を迫る。静岡市教組闘争委員会」を編成し、「教組組織防衛」を合言葉に、静岡市教組を守る会」に結集した約一〇〇名の組合員の活動によってついに組合の完全勝利に終った。

かくして四月、校長派は第二組合結成準備会を結成、五月四日には「教組」を結成大会を強行した。

ところがこのような静岡市教組の闘いに対して、静岡県教組は「教組」の「教組」を「闘争」の「闘争」の「闘争」の